

『重要証人 ウイグルの  
強制収容所を逃れて』を  
読んで

小嶋 栄治 陸自78

本書の著者（サイラグル・サウト  
バイ）は、新疆ウイグル自治区で生  
まれ育ったカザフ人女性で、医師で  
あり教師でもあり二人の子供を持つ  
母親であります。

彼女はある日突然、四人の武装警  
察官に拘束され、再教育施設と呼ば  
れる有刺鉄線が張りめぐらされた高  
いフェンスに囲まれた強制収容所に  
連行されました。

新疆ウイグル自治区に1200以  
上もあると言われる強制収容所は、

ウイグル民族としての言語・宗教・  
文化等を完全に抹殺し、漢民族とし  
て中国共産党に忠誠を尽くすことを  
強制し洗脳するための施設で、外部  
との接触を完全に遮断され多くの無  
実のウイグル人が集められた恐怖の  
場所です。

そこで彼女が見たウイグル人に対  
する拷問・洗脳・レイプ等想像を絶  
する弾圧は、ナチスドイツの犯罪を  
はるかに超える規模と残虐さであり  
ます。まさに米国のトランプ政権が  
断じた「中国共産党によるウイグル・  
ジェノサイド」の現場そのものであ  
りました。

彼女は一時的に強制収容所から釈  
放された好機を逃さず命がけで隣国  
カザフスタンに脱出しました。そし  
て人権活動家や国外のジャーナリス  
ト等が傍聴する法廷に立ち、現在進  
行形である強制収容所の、この世の  
出来事とは思えない地獄にも勝る過  
酷な日々の実態を克明に証言しまし  
た。この証言内容は中国共産党が最  
も世に知られたくない非人道的な収  
容所の現状を全世界に明らかにした  
衝撃的な内容でありました。

今まで収容所は、中国共産党がウ  
イグル人を再教育することによって

さらに素晴らしい人間にするという  
職業技能教育訓練センターであると  
公言していました。

それを証明するために作成され  
た、きれいに着飾った訓練生が設備  
の整った明るくて清潔な教室で指導  
を受けているセンターのすばらしさ  
を謳った大量のプロパガンダ映画  
は、真赤な嘘であることが白日の下  
に晒されたのであります。

もし日本が中国共産党の統治下  
におかれたならば全国に同様の強制収  
容所が設けられ、日本民族を浄化す  
る惨事が各地で行われるものと考え  
られます。そして日本人としての民  
族性は完全に否定抹殺され、中国共  
産党に忠誠を誓い漢民族として厳し  
い監視下で今までの価値観とは全く  
異なる社会体制の中で生きることを  
強制されるでしょう。

世界に類を見ない2600年以上  
もの間、先人達が営々として繁栄の  
歴史を刻み続け、人々が生き生きと  
自信と誇りを持って自由と幸福を謳  
歌できる瑞穂の国日本という素晴ら  
しいわが祖国を、大国の脅威から護  
り抜き未来につなげる事がいかに尊  
く大切であるかを改めて認識させら  
れる一冊であります。